

嘉麻市公共施設等適正化基本方針（概要）

現 状

- 市町村合併に伴い非常に多くの公共施設を保有
- 公共施設の大半は、昭和40～50年代に集中的に整備
- 人口減少の進行（今後30年間で約38%の減少）
- 普通交付税の段階的縮減
- 市税収の減少

- ・ 事故が起きる可能性が年々増加
- ・ 公共施設に対する市民ニーズが大きく変化

市が抱える課題

- 更新や大規模改修が一時期に集中
 - 更新費用の確保
- 【今後40年間の更新費用】
- ・ 公共施設
総額約1,661億円 年間約41.5億円
 - ・ 道路等インフラ施設
総額約812億円 年間約20.3億円

公共施設等の適正配置

集中して発生する費用を平準化
次世代への負担を可能な限り軽減

- 公共施設の保有量縮減（統廃合、複合化）
- 長寿命化の推進及び計画的な維持管理
- 民間活力（PFI・PPP）
- 耐震化（耐震改修促進計画）
- 使用料の見直し（施設別コスト情報の把握）

